

**IBM Cognos TM1 on Cloud**  
バージョン 10.2.2

## **モデル作成者ガイド**

**IBM**

**ご注意**

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、35 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

このマニュアルは、IBM Cognos TM1 on Cloud バージョン 10.2.2 に適用され、以降のリリースにも適用される可能性があります。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

**原典：** IBM Cognos TM1 on Cloud  
Version 10.2.2  
Modeler Guide

**発行：** 日本アイ・ビー・エム株式会社

**担当：** トランスレーション・サービス・センター

Licensed Materials - Property of IBM

© Copyright IBM Corporation 2007, 2014.

---

# 目次

はじめに. . . . .	v
<b>第 1 章 Cognos TM1 on Cloud のご利用の手引き . . . . .</b>	<b>1</b>
Cognos TM1 on Cloud の概要 . . . . .	1
Cognos TM1 on Cloud の非実稼働環境と実稼働環境 . . . . .	1
Cognos TM1 on Cloud システム . . . . .	2
Cognos TM1 on Cloud のアプリケーションおよびコンポーネント . . . . .	3
Cognos TM1 on Cloud の共有フォルダー . . . . .	5
Cognos TM1 on Cloud のアカウントおよびシステム情報 . . . . .	6
リモート・デスクトップ接続による Cognos TM1 on Cloud への接続 . . . . .	9
Cognos TM1 on Cloud と Windows Server 2012 . . . . .	10
Cognos TM1 on Cloud の言語設定 . . . . .	12
Cognos TM1 on Cloud によるドキュメントの設定およびドキュメントへのアクセス . . . . .	13
<b>第 2 章 Cognos TM1 on Cloud での Cognos TM1 コンポーネントの実行. . . . .</b>	<b>15</b>
Cognos TM1 on Cloud と Cognos TM1 Web . . . . .	15
Cognos TM1 on Cloud と Cognos TM1 Applications . . . . .	15
Cognos TM1 on Cloud と Cognos TM1 Operations Console . . . . .	16
Cognos TM1 on Cloud と Cognos TM1 Architect . . . . .	17
Cognos TM1 on Cloud と Cognos TM1 Perspectives . . . . .	18
Cognos TM1 on Cloud と Cognos TM1 Performance Modeler . . . . .	19
Cognos TM1 on Cloud と Cognos Insight . . . . .	20
Cognos TM1 on Cloud と Cognos Analysis for Microsoft Excel . . . . .	21
Cognos TM1 on Cloud と Cognos TM1 Mobile Contributor . . . . .	23
Cognos TM1 on Cloud と Cognos Command Center のエージェント . . . . .	23
Cognos TM1 on Cloud Control . . . . .	26
<b>第 3 章 Cognos TM1 on Cloud のモデル作成タスク . . . . .</b>	<b>27</b>
Cognos TM1 on Cloud での Cognos TM1 Server の管理 . . . . .	27
Cognos TM1 on Cloud での Cognos TM1 ユーザー・アカウントの管理 . . . . .	29
Cognos TM1 on Cloud 共有フォルダーでのファイルの管理 . . . . .	30
Cognos TM1 on Cloud へのローカル・ファイルのコピー . . . . .	31
Cognos TM1 on Cloud によるデータのロードおよびマイグレーション . . . . .	31
<b>付録. Cognos TM1 on Cloud の技術的考慮事項 . . . . .</b>	<b>33</b>
Cognos TM1 on Cloud での複製および同期 . . . . .	33
Cognos TM1 on Cloud システムのタイム・ゾーンおよびクロックの設定 . . . . .	33
Cognos TM1 on Cloud と TurboIntegrator ASCIIOutput および TextOutput 関数 . . . . .	33
Cognos TM1 on Cloud および Cognos TM1 Architect の表示の問題 . . . . .	34
Cognos TM1 on Cloud および Cognos TM1 Architect でのメッセージ・ログの表示 . . . . .	34
<b>特記事項 . . . . .</b>	<b>35</b>
<b>索引 . . . . .</b>	<b>39</b>



---

## はじめに

本書では、IBM® Cognos® TM1® on Cloud システム、関連コンポーネントおよび共通モデル作成タスクと対話する方法について説明します。本書は、クラウド・システムのモデル作成者が、クラウド環境に固有のステップおよび機能を理解するのに役立ちます。

Cognos TM1 on Cloud システムは、リモート・ホスト環境で作動するので、本書ではクラウド・システムとリモートに対話する方法、および接続する方法について説明します。本書ではまた、クラウド・システムの概要と、複数クラウド環境での作業方法についても示しています。

以下のタスクに関する情報およびステップが提供されます。

- クラウド・システムで提供される各プログラムの実行方法。
- ローカル・コンピューターとクラウド・システムとの間でのファイルの移動方法。
- リモート・デスクトップ・セッションによるクラウド・システムへの接続方法。

本書には、Cognos TM1 on Cloud システムで提供される各 Cognos TM1 プログラムに関する詳細情報は掲載されていません。代わりに、これらの他のプログラムの関連資料へのリンクと共に、各プログラムがクラウド・システムでどのように動作するかに関する簡単な説明が掲載されています。

### 対象読者

このガイドを使用するには、以下の概念に精通している必要があります。

- ご使用の Cognos TM1 データおよびモデル作成の要件
- Cognos TM1 のユーザー・セキュリティー・オプションおよび機能
- 基本的な Microsoft Windows ファイル管理
- セキュア・ファイル転送プロトコル (FTPS) ツールを使用したリモート・ファイル管理
- リモート・デスクトップ・プロトコル (RDP) ツールを使用したリモート・システム・アクセス

### 情報の検索

資料 (各言語版のすべての資料を含む) を Web で入手するには、IBM Knowledge Center (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter>) にアクセスしてください。

### ユーザー補助機能

ユーザー補助機能は、動作が制限されている方、視力の限られた方など、身体に障害を持つ方々に IT 製品をご使用いただけるように支援する機能です。IBM Cognos TM1 on Cloud システムの一部のコンポーネントには、ユーザー補助機能が

備えられています。これらの機能に関する情報については、Cognos TM1 on Cloud システムに組み込まれた各 IBM Cognos コンポーネントの資料の、ユーザー補助機能のセクションを参照してください。

IBM Cognos HTML ドキュメントにはユーザー補助機能があります。PDF 文書は補足的なものであるため、追加のユーザー補助機能は含まれていません。

## サンプルに関する特記事項

Sample Outdoors 社、Great Outdoors 社、GO 販売、Sample Outdoors または Great Outdoors の名前のすべてのバリエーション、および Planning サンプルでは、IBM および IBM のお客様向けのサンプル・アプリケーションを開発するために使用されるサンプル・データにより、架空の企業活動が描出されています。これらの架空データには、販売取引、商品流通、財務、および人事のサンプル・データが含まれます。実際の名前、住所、電話番号、または取引額との類似は偶発的なものです。また、サンプル・ファイルの中には、手動またはコンピューターで生成された架空のデータ、学術的ソースまたは公共のソースを基に編集された実際のデータ、著作権所有者の許可を得て使われているデータなどが、サンプル・アプリケーションを開発するためのサンプル・データとして使用されている場合もあります。参照される製品名は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。無断の複写は禁止されています。

## 将来予想に関する記述

このマニュアルでは、本製品の現在の機能について説明しています。一部の内容で、現在利用できない項目について言及している可能性があります。これは、将来利用できるようになることを意味するものではありません。そのような内容は、資料、コード、または機能の提供に向けた取り組み、確約、あるいは法律上の義務を意味するものではありません。機能の開発、リリース、時期や機能性は IBM の独自の決定によるものとしします。

---

## 第 1 章 Cognos TM1 on Cloud のご利用の手引き

IBM Cognos TM1 on Cloud のモデル作成者は、クラウド・システム全般と、このシステムと標準的な Cognos TM1 インストール済み環境との相違点について理解している必要があります。また、クラウド・システムへの接続方法について理解し、この情報を他のユーザーに提供する必要があります。さらに、使用可能なコンポーネントに精通しており、使用可能なコンポーネントを実行するために必要な接続情報および操作指示をユーザーが保持していることを確認することも必要です。

---

### Cognos TM1 on Cloud の概要

Cognos TM1 のモデル作成者は、ご使用の IBM Cognos TM1 on Cloud 環境と、さまざまなコンポーネントが連動する仕組みについて理解する必要があります。

#### Cognos TM1 on Cloud の非実稼働環境と実稼働環境

標準的な IBM Cognos TM1 on Cloud のソリューションには、2 つの別個のクラウド環境またはシステム (非実稼働用のものと、実稼働用のもの) が含まれます。環境ごとに、別個のアカウント情報セットを受け取ります。

例えば、開発目的で非実稼働環境を使用し、ライブ環境として実稼働環境を使用することができます。

Cognos TM1 のモデル作成者として、ローカル・コンピューターからリモート・デスクトップ接続を使用していずれかのクラウド・システムに接続します。クラウド・システムに接続した後で、そのシステムでホストされているアプリケーションを実行することができます。

ローカル・コンピューターと、いずれかのクラウド・システムの共有フォルダー間で、ファイルを移動することができます。また、別のクラウド・システムの共有フォルダー間でファイルを移動することもできます。

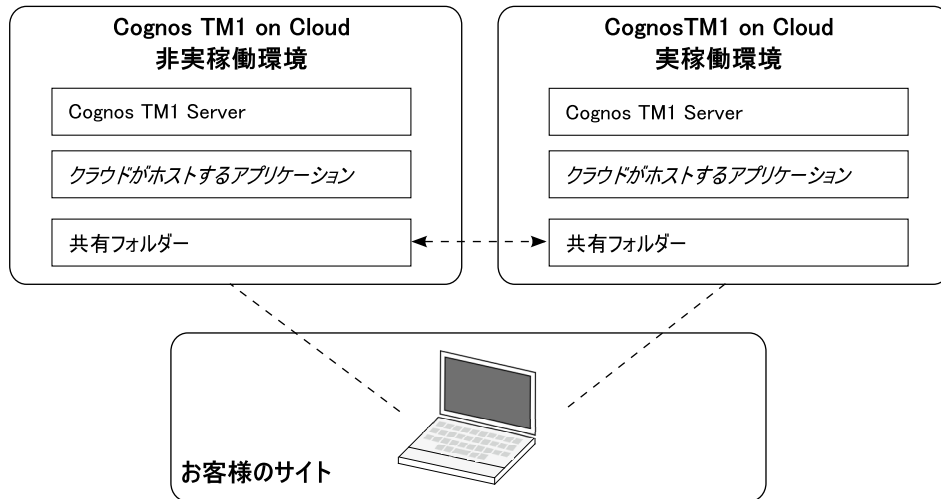


図1. IBM Cognos TM1 on Cloud の非実稼働環境および実稼働環境の例

## Cognos TM1 on Cloud システム

IBM Cognos TM1 on Cloud には、ユーザーがアクセス可能な安全なリモート・システムでホストされる Cognos TM1 環境が用意されています。各クラウド・システムでは、エンド・ユーザーおよびモデル作成者を対象とした、Cognos TM1 デスクトップ、Web ベース・アプリケーションおよびモバイル・アプリケーションのコレクションがサポートされています。また、各システムには、データ・ファイルを格納したり、データ・ファイルにアクセスしたりするための共有フォルダーも含まれています。

Cognos TM1 on Cloud システムのメイン・コンポーネントは、以下のとおりです。

- Cognos TM1 Server
- Cognos TM1 がホストするアプリケーションおよびローカル・アプリケーション
- Cloud システムの共有フォルダー

以下の図に、標準的な Cognos TM1 on Cloud システムを構成するさまざまなコンポーネントおよびアプリケーションの概要を示しています。Cognos TM1 Server、ホストされるアプリケーション、ローカル・アプリケーション、および共有フォルダー間の対話が示されています。



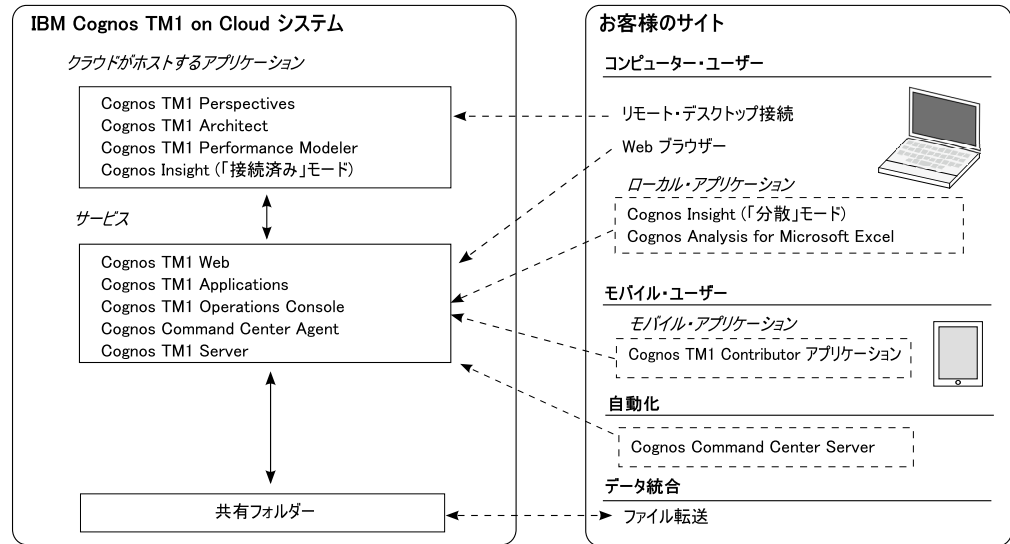


図 2. IBM Cognos TM1 on Cloud システムの概要

## ユーザー・アクセス

Cognos TM1 on Cloud のモデル作成者は、リモート・デスクトップ・プロトコル (RDP) 接続、またはセキュア・ファイル転送プロトコル (FTPS) アプリケーションを使用して、クラウド・システムに直接接続できるユーザー・アカウントを保持しています。これにより、モデル作成者は関連する Cognos TM1 デスクトップ・プログラムを実行したり、クラウド・システム上の共有フォルダー内のファイルを管理したりすることができます。

モデル作成者以外の標準的なユーザーは、Web、モバイル、およびローカル Cognos アプリケーションのみを使用して、クラウド・システムに接続します。標準的なユーザーは、クラウド・システムへの接続に RDP または FTPS を使用しません。

## Cloud オペレーティング・システム

Cognos TM1 on Cloud システムは、Microsoft Windows Server 2012 オペレーティング・システムで稼働します。この Windows システムは、Cognos TM1 Server を稼働し、使用可能な Cognos TM1 Web ベースおよびデスクトップ・ベースのプログラムのインスタンスをホストします。

## Cognos TM1 Admin Server および Cognos TM1 Server

クラウド・システムは、IBM Cognos TM1 Admin Host および Cognos TM1 Server について以下のデフォルト名を使用します。

- デフォルトの Cognos TM1 Admin Host 名: data
- デフォルトの Cognos TM1 Server 名: tm1

## Cognos TM1 on Cloud のアプリケーションおよびコンポーネント

IBM Cognos TM1 on Cloud には、Cognos TM1 データのモニター、モデル作成、分析、および対話用のコンポーネントのコレクションが含まれています。これらの

コンポーネントは、クラウド・システムでホストされるか、ローカル・コンピューターまたはモバイル・デバイスに直接インストールされるかのどちらかです。すべてのコンポーネントは、クラウド・システムで稼働する Cognos TM1 Server に接続します。

これらの各コンポーネントの実行に関する情報については、15 ページの『第 2 章 Cognos TM1 on Cloud での Cognos TM1 コンポーネントの実行』を参照してください。

## ホストされるアプリケーション

クラウド・システム・コンピューターは、Web ブラウザーまたはリモート・デスクトップ接続を介してアクセスされる Cognos TM1 プログラムをホストします。

以下の Web ベース・アプリケーションが Cognos TM1 on Cloud システムで実行します。これらのアプリケーションには、ローカル・コンピューターの Web ブラウザーを使用してアクセスします。

- IBM Cognos TM1 Web
- IBM Cognos TM1 Applications
- IBM Cognos TM1 Operation Console

以下のデスクトップ・アプリケーションが、Cognos TM1 on Cloud システムで実行します。これらのアプリケーションには、リモート・デスクトップ・プロトコル (RDP) を使用するクラウド・システムに対するリモート・デスクトップ接続を使用してアクセスします。

- IBM Cognos TM1 Perspectives
- IBM Cognos TM1 Architect
- IBM Cognos TM1 Performance Modeler
- IBM Cognos Insight (「接続済み」モード)

注: Cognos Insight は、クラウド・システムのリモート・デスクトップ・セッションで実行する際に、「接続済み」モードでのみ稼働します。リモート・デスクトップ・セッションでの Cognos Insight の実行は、ワークスペース・レイアウトの設計を実行するモデル作成者のみを対象としています。

## ローカル・アプリケーション

以下の IBM Cognos プログラムは、ローカル・コンピューターに直接インストールされて実行され、クラウド・システムの Cognos TM1 Server にリモート側からアクセスします。

- IBM Cognos Insight (「分散」モード)

注: Cognos Insight は、ローカル・コンピューターで実行し、クラウド・システムの Cognos TM1 Server にリモート側からアクセスする場合には、「分散」モードでのみ稼働します。

- IBM Cognos Analysis for Microsoft Excel

## モバイル・アプリケーション

モバイル・ユーザーは、IBM Cognos TM1 Mobile Contributor をそれぞれの Apple iPad タブレットで実行でき、クラウド・システムの Cognos TM1 Server にリモート側から接続できます。

## Cognos TM1 on Cloud の共有フォルダー

IBM Cognos TM1 on Cloud システムには、Cognos TM1 のデータ・ファイルおよび関連ファイル用の専用共有フォルダーが用意されています。

共有フォルダーには、Cloud ウェルカム・キットで提供された共有フォルダーのユーザー名、パスワード、およびアドレスを使用するのみアクセスできます。

### 共有フォルダーのコンテンツ

共有フォルダーには、以下のファイルが含まれています。

- Cognos TM1 のデータ・ファイルおよびログ・ファイル
- IBM Cognos TM1 Performance Modeler からの転送アーカイブ・ファイル
- IBM Cognos TM1 Performance Modeler からの転送仕様ファイル
- Cognos TM1 on Cloud システムで使用するその他のファイルおよびドキュメント

### 共有フォルダーへのアクセス

共有フォルダー・アカウントのユーザー名とパスワードを使用して、以下の方法で共有フォルダーにアクセスできます。

- リモート・デスクトップ・セッションで Windows エクスプローラーを使用して、共有フォルダー内のファイルを管理します。
- ローカル・コンピューターでセキュア・ファイル転送プロトコル (FTPS) アプリケーションを使用して、ローカル・コンピューターと共有フォルダー間でファイルを移動します。

**重要:** 転送時にデータが確実に暗号化されるようにするため、クラウド・システムの FTP 接続は、Secure Sockets Layer を使用する FTP (FTPS) で構成されています。必ず FTPS をサポートする FTP アプリケーションを使用してください。

- 複数のクラウド環境がある場合は、エクスプローラーを使用して各環境の共有フォルダー間でファイルを移動できます。

共有フォルダーにアクセスするためのステップについては詳しくは、30 ページの『Cognos TM1 on Cloud 共有フォルダーでのファイルの管理』を参照してください。

### 共有フォルダーのデータ・バックアップ

共有フォルダー内のファイルは、定期的にバックアップされます。詳しくは、IBM サポートに確認してください。

---

## Cognos TM1 on Cloud のアカウントおよびシステム情報

IBM Cognos TM1 on Cloud システムは、会社または組織に割り当てられた専用のユーザー・アカウントおよびシステム・アドレスのグループを通じて管理され、アクセスされます。

初めてクラウド・システムを使用する際には、要求したクラウド・システムごとの Cloud ウェルカム・キット・ファイルが準備されています。このファイルには、ご使用のクラウド・システムに固有のアカウントとシステム情報のセットが含まれています。この情報には、1 つの特定の Cognos TM1 on Cloud システムへの接続に使用するメイン・ユーザーのアカウント資格情報、システム・アドレス、および URL が含まれています。

**注:** Cloud ウェルカム・キットにある情報とオンライン資料との間で相違点や疑問点がある場合、ウェルカム・キットの情報が優先されます。

Cloud ウェルカム・キットのファイルでは、以下のような命名形式が使用されません。

`wwwX.cognostm1.ibmcloud.com Cloud Welcome Kit date.txt`

X は、その特定の Cognos TM1 on Cloud システムの固有の ID 番号です。

**重要:** この情報は、安全な場所に保管してください。提供されるユーザー・アカウントは、リモート・デスクトップとクラウド・システムへのファイル転送のアクセス権限を必要とするモデル作成者のみを対象としています。

標準的な Cognos TM1 on Cloud システムには、以下のようなアカウントおよびシステム情報が含まれています。

### Cognos TM1 on Cloud システムのアドレス

Cognos TM1 on Cloud システムの固有のシステム・アドレス。この情報は、クラウド・システムへのリモート・デスクトップ・アクセス用に使用します。

標準フォーマット:

`wwwX.cognostm1.ibmcloud.com`

ここで、X は、Cognos TM1 on Cloud システムのうちの 1 つの、固有の ID 番号です。

通常は、複数のクラウド・システム・アドレスを保持します。例えば、非実稼働クラウド環境と実稼働クラウド環境のアドレスを保持できます。

### ユーザー・アカウント名とパスワード

各クラウド・システムには複数のユーザー・アカウントが含まれます。

#### リモート・デスクトップのユーザー・アカウント:

リモート Microsoft Windows ユーザー・アカウントのユーザー名とパスワード。

このアカウントは、クラウド・システムでリモート・デスクトップ・セッションを実行する際に使用します。例えば、IBM Cognos TM1 Performance Modeler や IBM Cognos TM1 Architect などのホ

ストされるデスクトップ・ベースのプログラムを実行するために、リモート・デスクトップ・セッションを使用します。

このアカウントのユーザー名の形式は、modeler1、modeler2 ~ modelerX です。使用する正確なクラウド・システムに応じて、1 つまたは複数のユーザー・アカウントを保持する場合があります。

**重要:** このユーザー・アカウントは、Cognos TM1 の標準ユーザーではなく、Cognos TM1 モデル作成者のみを対象としています。

#### **Cognos TM1 Server の管理者アカウント:**

1 次 Cognos TM1 管理者アカウントのユーザー名とパスワード。

このアカウントは、他の Cognos TM1 ユーザー・アカウントを作成するために Cognos TM1 Performance Modeler または Cognos TM1 Architect にログインする際に使用します。詳細については、29 ページの『Cognos TM1 on Cloud での Cognos TM1 ユーザー・アカウントの管理』を参照してください。

また、このアカウントを使用して、任意の Cognos TM1 ユーザー・インターフェースにログインすることもできます。

**重要:** このユーザー・アカウントは、Cognos TM1 の標準ユーザーではなく、Cognos TM1 モデル作成者のみを対象としています。

#### **Cognos Command Center アカウント:**

Cognos Command Center のユーザー名およびパスワード。

このアカウントを使用して Cognos Command Center にログインし、エージェントを処理します。詳細については、23 ページの『Cognos TM1 on Cloud と Cognos Command Center のエージェント』を参照してください。

Cloud ウェルカム・キットには、Cognos Command Center を操作するための他の情報も含まれます。

#### **共有フォルダーのアカウント:**

クラウド・システム上の共有フォルダーでのセキュア・ファイル転送プロトコル (FTPS) および Windows ファイル共有のためのユーザー名およびパスワード。

#### **Cognos TM1 Server の Control アカウント:**

Control ユーティリティーのユーザー名およびパスワード。これを使用して、クラウド・システムのすべての TM1 サービスを開始および停止できます。

#### **Cognos TM1 のデスクトップ・アプリケーション**

この情報は、Cognos TM1 Performance Modeler、Cognos TM1 Architect、Cognos TM1 Perspectives、および Cognos Insight (接続モード) へのリモート・デスクトップ・アクセス用に使用します。

例えば、クラウド・システムにリモートで接続するには、以下の形式で Microsoft Windows リモート・デスクトップ接続を使用します。

[wwwX.cognostm1.ibmcloud.com](http://wwwX.cognostm1.ibmcloud.com)

ここで、*X* は、Cognos TM1 on Cloud システムのうちの 1 つの、固有の ID 番号です。

**注:** Cognos TM1 Performance Modeler の開始時にプロンプトが表示された場合は、「**IBM Cognos TM1 システム URL**」フィールドに以下の URL が指定されていることを確認します。

<https://wwwX.cognostm1.ibmcloud.com/pmpsvc/services>

#### **Cognos TM1 Web ブラウザー・ベース・アプリケーションの URL**

これらの URL は、ユーザーに提供して、ユーザーがそれぞれの Web ブラウザーから、関連する Cognos TM1 Web ベース・アプリケーションにアクセスできるようにすることができます。

- IBM Cognos TM1 Web

<https://wwwX.cognostm1.ibmcloud.com/tmlweb/>

- IBM Cognos TM1 Applications

<https://wwwX.cognostm1.ibmcloud.com/pmpsvc/>

- IBM Cognos TM1 Operation Console

<https://wwwX.cognostm1.ibmcloud.com/pmhub/pm/opsconsole/>

#### **Cognos TM1 Web 接続アプリケーションの URL**

この情報は、以下のアプリケーションのリモート・データ接続を設定するために使用します。

- IBM Cognos Analysis for Microsoft Excel

<https://wwwX.cognostm1.ibmcloud.com>

- IBM Cognos TM1 Mobile Contributor

– ホスト: [wwwX.cognostm1.ibmcloud.com](https://wwwX.cognostm1.ibmcloud.com)

– ポート: 443

– SSL を使用: 接続に Secure Sockets Layer (SSL) セキュリティーを使用する場合は、このオプションを **ON** に設定します。

#### **共有フォルダー情報**

クラウド・システム上の共有フォルダーでのセキュア・ファイル転送プロトコル (FTPS) および Windows ファイル共有のためのユーザー・アカウント情報。この情報には、ユーザー名、パスワード、および共有フォルダーに割り当てられたアドレスが含まれます。

共有フォルダーにアクセスするためのステップについては詳しくは、30 ページの『Cognos TM1 on Cloud 共有フォルダーでのファイルの管理』を参照してください。

## リモート・デスクトップ接続による Cognos TM1 on Cloud への接続

リモート・デスクトップ接続を使用して IBM Cognos TM1 on Cloud システムに接続すると、ホストされているデスクトップ・ベースのアプリケーションを実行したり、共有フォルダー内のファイルを管理したりできるようになります。例えば、リモート・デスクトップ接続を開始してから、IBM Cognos TM1 Architect、IBM Cognos TM1 Perspectives、および IBM Cognos TM1 Performance Modeler を実行することができます。

### 始める前に

Cognos TM1 on Cloud は、セキュア・リモート・デスクトップ・プロトコル (RDP) 接続のみをサポートするように設定されています。

Cognos TM1 on Cloud デスクトップ・セッションへの接続を正常に確立するには、ネットワーク・レベル認証 (NLA) をサポートするリモート・デスクトップ・プロトコル (RDP) アプリケーションを使用する必要があります。RDP アプリケーションは、Microsoft Windows プラットフォームと、非 Windows プラットフォームの両方で使用可能です。

例えば、Microsoft Windows 7、Vista、および XP に標準装備されている「リモートデスクトップ接続」機能を使用できます。この機能について詳しくは、Microsoft Web サイトで「リモート デスクトップ接続を使用して別のコンピューターに接続する」を検索してください。

「Windows リモート デスクトップ接続」のご使用のバージョンが、ネットワーク・レベル認証をサポートしているかどうかを確認するには、以下の手順を実行します。

1. 「リモート デスクトップ接続」ツールを開きます。

このツールは通常、「スタート」メニュー > 「すべてのプログラム」 > 「アクセサリ」 > 「リモート デスクトップ接続」にあります。

2. 「リモート デスクトップ接続」ウィンドウで、ウィンドウの左上隅にあるプログラム・アイコンをクリックしてから、「バージョン情報」をクリックします。
3. 「ネットワーク レベル認証はサポートされています」というテキストがリストされることを確認します。

### 手順

1. RDP アプリケーションを開きます。

例えば、「Windows リモート デスクトップ接続」ツールを開くには、「スタート」メニュー > 「すべてのプログラム」 > 「アクセサリ」 > 「リモート デスクトップ接続」をクリックします。

2. RDP アプリケーションで、Cognos TM1 on Cloud のアカウント情報を入力します。
  - クラウド・システムのアドレスを入力します。

例:

wwwX.cognostm1.ibmcloud.com



ここで、*X* は、ご使用のクラウド・システムの固有の ID 番号です。

- クラウド・システムの Windows リモート・デスクトップ・アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。例えば、*modelerX* と入力します。

**ヒント:** 一部の RDP アプリケーションでは、接続時にのみパスワードを求めるプロンプトが表示されます。

3. リモート・コンピューターの Windows キーの組み合わせで実行するように RDP アプリケーションを設定します。

このオプションは、Windows ログオ・キーおよびその他のキーの組み合わせのキーボード・ショートカットをリモート・コンピューターに送信し、それらのショートカットをそこで実行します。

例えば、このオプションを「Windows リモート デスクトップ接続」ツールで設定する手順は、次のとおりです。

- a. 「オプション」>「ローカル リソース」タブをクリックします。
  - b. 「キーボード」セクションの下で、「Windows のキーの組み合わせを割り当てます」オプションを、「リモート コンピューター」に設定します。
4. すべての情報の入力および設定が完了したら、RDP アプリケーションを使用してリモート・デスクトップ接続を開始します。

接続が正常に確立されたら、クラウド・システムのデスクトップが表示されません。

**ヒント:** クラシック・デスクトップ・ビューではなく、新しい Windows の「スタート」メニューが表示される場合、「デスクトップ」アイコンをクリックするか、Windows ログオ・キーを押してクラシック・デスクトップ・ビューに切り替えてください。

## 次のタスク

Cognos TM1 on Cloud デスクトップ・セッションへの接続が正常に確立されると、ホストされるデスクトップ・アプリケーションを実行し、共有フォルダー内のファイルを管理できるようになります。

---

## Cognos TM1 on Cloud と Windows Server 2012

IBM Cognos TM1 on Cloud システムは、Microsoft Windows Server 2012 オペレーティング・システムで稼働します。リモート・デスクトップ接続で Cognos TM1 on Cloud システムに接続する際には、Windows Server 2012 ユーザー・インターフェースと対話します。

Cognos TM1 on Cloud のモデル作成者は、Windows Server 2012 ユーザー・インターフェースと、いくつかの基本的なキーボード・ショートカットを把握している必要があります。これらの機能を把握していることが、クラウド・システムのリモート・デスクトップ・セッションで作業する際に役立ちます。



## Windows Update

IBM サポートでは、ご使用のクラウド環境の Windows オペレーティング・システムに対するアップデートを管理および適用します。

**重要:** クラウド・システムでリモート・デスクトップ・セッションを使用する場合、プロンプトが出されても、Windows Update 機能の実行を試みないでください。

## Windows Server 2012 ユーザー・インターフェース

Microsoft Windows Server 2012 のユーザー・インターフェースは、Microsoft Windows 8 の UI に似ています。Cognos TM1 on Cloud システムでは、新しい UI を表示することも、クラシック Windows デスクトップ・ビューを表示することもできます。リモート・デスクトップ接続でシステムに接続する際には、これらのデスクトップ・ビューの間で切り替えることができます。

ホストされる Cognos TM1 デスクトップ・アプリケーションを開くショートカットは、クラシック Windows ビューからのみ使用可能です。クラシック・デスクトップ・ビューと新しいデスクトップ・ビューを切り替えるには、Windows ログ・キーを使用します。

インターネットで以下の句を検索することにより、Windows Server 2012 に関する詳細を確認できます。

- 「Windows Server 2012 の一般的な管理タスクとナビゲーション」
- 「ebook introducing Windows Server 2012 microsoft press RTM Edition」
- 「キーボード ショートカット Windows Server 2012」

## Windows Server 2012 の基本的なキーボード・ショートカット

Windows Server 2012 で使用できる基本的なキーボード・ショートカットは、以下のとおりです。

**ヒント:** キーボード・ショートカットがクラウド・システム・コンピューターで稼働することを確認するため、リモート・コンピューターの Windows キーの組み合わせが適用されるようにリモート・デスクトップ接続を設定します。詳細については、9 ページの『リモート・デスクトップ接続による Cognos TM1 on Cloud への接続』を参照してください。

### Windows ログ・キー

クラシック Windows デスクトップ・ビューと新しい Windows デスクトップ・ビューの間で切り替えます。

**要確認:** ホストされる Cognos TM1 デスクトップ・アプリケーションを開くショートカットは、クラシック Windows ビューからのみ使用可能です。

### Windows ログ・キー + d

すべての実行中のプログラムを最小化し、クラシック Windows デスクトップのみを表示します。これらのキーをもう一度押すと、実行中のプログラムに再度切り替わります。

### Windows ログ・キー + q

汎用検索ツールが表示されます。

## Windows ログ・キー + f

ファイル検索ツールが表示されます。

---

## Cognos TM1 on Cloud の言語設定

Cognos TM1 on Cloud で提供される Cognos TM1 プログラムのユーザー・インターフェース言語を設定できます。これらのプログラムは、標準バージョンの Cognos TM1 と同じ言語を使用するように設定できます。

必ず、Cognos TM1 言語コード ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1\\_inst.10.2.2.doc/c\\_tm1\\_inst\\_tm1languagecodes.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1_inst.10.2.2.doc/c_tm1_inst_tm1languagecodes.html)) のトピックにリストされている、サポートされる Cognos TM1 用の言語のいずれか 1 つを選択してください。

### クラウドでホストされるデスクトップ・プログラム用の言語

Microsoft Windows の「コントロール パネル」>「言語」>「言語の追加」オプションを使用して、クラウド・リモート・デスクトップ・セッションでホストされているデスクトップ・プログラム用のユーザー・インターフェース言語を設定します。

この設定は、以下のプログラムに適用されます。

- Cognos TM1 Perspectives
- Cognos TM1 Architect
- Cognos TM1 Performance Modeler
- Cognos Insight (「接続済み」モード)

### クラウドでホストされる Web ブラウザー・ベース・プログラム用の言語

Web ブラウザーの言語オプションを変更することにより、Web ベース・プログラム用のユーザー・インターフェース言語を設定できます。

この設定は、以下のプログラムに適用されます。

- Cognos TM1 Web
- Cognos TM1 Applications
- Cognos TM1 Operation Console

### ローカル・プログラム用の言語

ローカル・コンピューターで実行するプログラム用のユーザー・インターフェース言語を変更するには、Windows の「言語」オプションを使用します。

この設定は、以下のプログラムに適用されます。

- Cognos Insight (「分散」モード)
- Cognos Analysis for Microsoft Excel

### モバイル・アプリケーション用の言語

Cognos TM1 Mobile Contributor アプリケーション用の言語を設定するには、ご使用の iPad の Apple iOS 言語設定を使用します。

---

## Cognos TM1 on Cloud によるドキュメントの設定およびドキュメントへのアクセス

Cognos TM1 インフォメーション・センターの Cognos TM1 ドキュメントには、Web ブラウザーを使用してアクセスすることも、任意の TM1 コンポーネントの「ヘルプ」メニューから直接アクセスすることもできます。Cognos TM1 ドキュメンテーションに、クラウドのリモート・デスクトップ・セッションからアクセスする場合は、そのドキュメントの場所が信頼済みサイトとして組み込まれるようにリモート Web ブラウザーを設定する必要があります。

クラウド・システムのリモート・デスクトップ・セッション内で Cognos TM1 ドキュメントを正しく表示するには、そのクラウド・システム上で Microsoft Internet Explorer Web ブラウザーを設定します。

1. クラウド・システム上で Microsoft Internet Explorer を開きます。
2. 「ツール」>「インターネット オプション」をクリックしてから、「セキュリティ」タブをクリックします。
3. Cognos TM1 Performance Modeler ヘルプ・システムの場所を追加します。
  - a. 「ローカル イン트라ネット」をクリックしてから、「サイト」ボタンをクリックします。
  - b. 「追加」をクリックして「http://127.0.0.1」と入力します。
  - c. 「閉じる」をクリックします。
4. IBM Knowledge Center の基本 URL を追加します。
  - a. 「信頼済みサイト」をクリックしてから、「サイト」ボタンをクリックします。
  - b. 「追加」をクリックして、「http://www.ibm.com」と入力します。
  - c. 「閉じる」をクリックします。
5. 「OK」をクリックして「インターネット オプション」ダイアログ・ボックスを閉じます。

### IBM Knowledge Center のドキュメントへのアクセス

IBM Knowledge Center を使用して、利用可能なすべての TM1 ドキュメントにアクセスすることができます。

IBM Knowledge Center ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.ctm1.doc/welcome.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.ctm1.doc/welcome.html))。



---

## 第 2 章 Cognos TM1 on Cloud での Cognos TM1 コンポーネントの実行

モデル作成者は、IBM Cognos TM1 on Cloud で使用可能な IBM Cognos TM1 コンポーネントの実行方法について理解する必要があります。

---

### Cognos TM1 on Cloud と Cognos TM1 Web

Cognos TM1 Web は、クラウド・システムでホストされ、ローカル・コンピューターの Web ブラウザーで実行します。

Cognos TM1 Web を実行するには、Cloud ウェルカム・キットに含まれる関連 URL を認識していること、および有効な Cognos TM1 ユーザー・アカウントを保持していることが必要です。

1. ローカル・コンピューターで、Web ブラウザーを開いて Cognos TM1 Web 用に提供された URL を入力します。

例えば、Cognos TM1 Web は、以下の URL フォーマットを使用します。

```
https://wwwX.cognostm1.ibmcloud.com/tm1web/
```

ここで、X は、ご使用のクラウド・システムの固有の ID 番号です。

2. ログイン・ページで必要な情報を入力します。
  - 「**TM1 Server**」では、デフォルト値の **tm1** を使用します。
  - 「**ユーザー名**」および「**パスワード**」には、有効な Cognos TM1 ユーザー・アカウントを入力します。

モデル作成者は、クラウド・ウェルカム・キットで提供される Cognos TM1 ユーザー・アカウントを入力できます。

標準ユーザーは、割り当てられた Cognos TM1 ユーザー・アカウントを入力します。

3. 「**ログイン**」をクリックします。

#### Cognos TM1 Web の資料

Cognos TM1 Web の以下の資料を、IBM Knowledge Center から入手できます。

IBM Cognos TM1 Web ユーザー・ガイド ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1\\_wb.10.2.2.doc/c\\_tm1\\_wb\\_pref\\_intro.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1_wb.10.2.2.doc/c_tm1_wb_pref_intro.html))。

---

### Cognos TM1 on Cloud と Cognos TM1 Applications

ローカル・コンピューターで Web ブラウザーを使用して、クラウド・システムで Cognos TM1 Applications を実行します。

1. ローカル・コンピューターで、Web ブラウザーを開いて Cognos TM1 Applications の URL を入力します。

例えば、Cognos TM1 Applications は、以下の URL フォーマットを使用します。

```
https://wwwX.cognostm1.ibmcloud.com/pmpsvc/
```

ここで、X は、ご使用のクラウド・システムの固有の ID 番号です。

2. ログイン・ページで必要な情報を入力します。

「ユーザー名」および「パスワード」には、有効な Cognos TM1 ユーザー・アカウントを入力します。

3. 「ログイン」をクリックします。

## Cognos TM1 Applications の資料

Cognos TM1 Applications の以下の資料を、IBM Knowledge Center から入手できます。

IBM Cognos TM1 Applications ガイド ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1\\_cont\\_ug.10.2.2.doc/c\\_tm1\\_applications\\_intro.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1_cont_ug.10.2.2.doc/c_tm1_applications_intro.html))。

---

## Cognos TM1 on Cloud と Cognos TM1 Operations Console

ローカル・コンピューターの Web ブラウザーから IBM Cognos TM1 Operations Console を実行して、IBM Cognos TM1 on Cloud システムで IBM Cognos TM1 Server をモニターできます。

デフォルトでは、Cognos TM1 Operations Console は、クラウド・システム上の tm1 という名前のデフォルトのCognos TM1 Server をモニターします。このサーバーは、Cognos TM1 Operations Console にログインする際のユーザーおよびグループの認証にも使用されます。

### Cognos TM1 Operations Console のデフォルト設定

Cognos TM1 Operations Console は、クラウド・システムで以下の設定を使用します。

- 管理ホスト: data
- Cognos TM1 Server: tm1
- 認証用の Cognos TM1 グループ: admin
- Cognos TM1 ユーザー・アカウント: admin

Cognos TM1 Operations Console にログインする際に、この情報を使用します。

## Cognos TM1 on Cloud での Cognos TM1 Operations Console の実行

Cognos TM1 Operations Console を実行するには、関連 URL と、Cloud ウェルカム・キットで提供されている管理者アカウントなどの有効な Cognos TM1 ユーザー・アカウントが必要です。

1. ローカル・コンピュータで、Web ブラウザーを開いて Cognos TM1 Operations Console 用に提供された URL を入力します。

例えば、Cognos TM1 Operations Console は、以下の URL フォーマットを使用します。

```
https://wwwX.cognostm1.ibmcloud.com/pmhub/pm/opsconsole/
```

ここで、X は、ご使用のクラウド・システムの固有の ID 番号です。

2. ログイン・ページで必要な情報を入力します。
  - a. 「管理ホスト」では、「data」を選択します。
  - b. 「サーバー名」では、「tm1」を選択します。
  - c. 「グループ」では、「admin」を選択します。
  - d. 「admin」と提供されたパスワードなど、有効な Cognos TM1 ユーザー名およびパスワードを使用します。
3. 「ログイン」をクリックします。

### Cognos TM1 Operations Console の資料

Cognos TM1 Operations Console の以下の資料を、IBM Knowledge Center から入手できます。

IBM Cognos TM1 Operations Console ガイド ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1\\_ops\\_console.10.2.2.doc/c\\_tm1\\_inst\\_ops\\_console\\_intro.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1_ops_console.10.2.2.doc/c_tm1_inst_ops_console_intro.html))。

---

## Cognos TM1 on Cloud と Cognos TM1 Architect

IBM Cognos TM1 Architect は、Cognos TM1 on Cloud システムとのリモート・デスクトップ・セッションで実行するデスクトップ・アプリケーションです。

クラウド・システムで Cognos TM1 Architect を実行するには、以下のステップを実行します。

1. リモート・デスクトップ接続を使用してクラウド・システムに接続します。

詳細については、9 ページの『リモート・デスクトップ接続による Cognos TM1 on Cloud への接続』を参照してください。

**ヒント:** クラシック・デスクトップ・ビューではなく、新しい Windows の「スタート」メニューが表示される場合、「デスクトップ」アイコンをクリックするか、Windows ログ・キーを押してクラシック・デスクトップ・ビューに切り替えてください。

2. 「Architect」のデスクトップ・ショートカットをダブルクリックします。

3. Cognos TM1 Architect で、**TM1** ノードを展開し、**tm1** サーバー・ノードをダブルクリックします。
4. 有効な Cognos TM1 のユーザー名およびパスワードを入力してから、「**OK**」をクリックします。

**ヒント:** Cloud ウェルカム・キットで提供された TM1 Server 管理者アカウントを使用して、ログインすることができます。

5. ログインに成功すると、Cognos TM1 Server オブジェクト・ツリーが表示されません。

## Cognos TM1 Architect の資料

Cognos TM1 Architect の以下の資料を、IBM Knowledge Center から入手できます。

- IBM Cognos TM1 ユーザー・ガイド ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1\\_ug.10.2.2.doc/c\\_tm1\\_ug\\_pref\\_intro.html%23tm1\\_ug\\_pref\\_intro](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1_ug.10.2.2.doc/c_tm1_ug_pref_intro.html%23tm1_ug_pref_intro))
- IBM Cognos TM1 操作ガイド ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1\\_op.10.2.2.doc/c\\_preface\\_tm1\\_ops.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1_op.10.2.2.doc/c_preface_tm1_ops.html))

---

## Cognos TM1 on Cloud と Cognos TM1 Perspectives

IBM Cognos TM1 Perspectives は、Cognos TM1 on Cloud システムとのリモート・デスクトップ・セッションで実行する Microsoft Excel 用のアドインです。

クラウド・システムで Cognos TM1 Perspectives を実行するには、以下のステップを実行します。

1. リモート・デスクトップ接続を使用してクラウド・システムに接続します。

詳細については、9 ページの『リモート・デスクトップ接続による Cognos TM1 on Cloud への接続』を参照してください。

**ヒント:** クラシック・デスクトップ・ビューではなく、新しい Windows の「スタート」メニューが表示される場合、「**デスクトップ**」アイコンをクリックするか、Windows ログ・キーを押してクラシック・デスクトップ・ビューに切り替えてください。

2. 「**Perspectives**」のデスクトップ・ショートカットをダブルクリックします。
3. 「**Microsoft Excel セキュリティに関する通知**」ダイアログが表示される場合は、「**マクロを有効にする**」をクリックして続行します。
4. Excel の TM1 メニューで、「**接続**」をクリックして Cognos TM1 Server にログインします。
5. 「**TM1 Server に接続**」ダイアログに、以下の情報を入力します。
  - 「**サーバー ID**」では、「**tm1**」を選択します。
  - 「**クライアント ID**」では、Cognos TM1 のユーザー名を入力します。
  - 「**パスワード**」では、Cognos TM1 のパスワードを入力します。

**ヒント:** Cloud ウェルカム・キットで提供された TM1 Server 管理者アカウントを使用して、ログインすることができます。



- 「OK」をクリックします。
6. ログインに成功すると、確認メッセージが表示されます。

## Cognos TM1 Perspectives の資料

Cognos TM1 Perspectives の以下の資料を、IBM Knowledge Center から入手できます。

IBM Cognos TM1 ユーザー・ガイド ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1\\_ug.10.2.2.doc/c\\_tm1\\_ug\\_pref\\_intro.html%23tm1\\_ug\\_pref\\_intro](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1_ug.10.2.2.doc/c_tm1_ug_pref_intro.html%23tm1_ug_pref_intro))

---

## Cognos TM1 on Cloud と Cognos TM1 Performance Modeler

IBM Cognos TM1 Performance Modeler は、IBM Cognos TM1 on Cloud システムのリモート・デスクトップ接続から実行できます。

このコンポーネントを実行する手順は、以下のとおりです。

1. リモート・デスクトップ接続で Cognos TM1 on Cloud システムに接続します。

詳細については、9 ページの『リモート・デスクトップ接続による Cognos TM1 on Cloud への接続』を参照してください。

**ヒント:** クラシック・デスクトップ・ビューではなく、新しい Windows の「スタート」メニューが表示される場合、「デスクトップ」アイコンをクリックするか、Windows ロゴ・キーを押してクラシック・デスクトップ・ビューに切り替えてください。

2. 「IBM Cognos TM1 Performance Modeler」のデスクトップ・ショートカットをダブルクリックします。
3. 「接続」ダイアログで、「IBM Cognos TM1 システム URL」フィールドに以下の URL が指定されていることを確認します。

`https://wwwX.cognostm1.ibmcloud.com/pmpsvc/services`

ここで、X は、ご使用のクラウド・システムの固有の ID 番号です。

4. 「ログオン」をクリックし、Cognos TM1 のユーザー名とパスワードを入力してから、「ログイン」をクリックします。
5. 「TM1 Server」ドロップダウン・リストで、ログイン先のサーバーを選択してから、「OK」をクリックします。

例えば、クラウド・システムのデフォルトの Cognos TM1 Server は「tm1」という名前です。

## Cognos TM1 Performance Modeler の資料

Cognos TM1 Performance Modeler の以下の資料を、IBM Knowledge Center から入手できます。

IBM Cognos TM1 Performance Modeler ユーザー・ガイド ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.prfindl\\_ug.10.2.2.doc/c\\_prfindl\\_intro.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.prfindl_ug.10.2.2.doc/c_prfindl_intro.html))。

---

## Cognos TM1 on Cloud と Cognos Insight

IBM Cognos TM1 on Cloud システムで IBM Cognos Insight を使用して、ユーザーが TM1 データを分析、閲覧、および共有できるマネージド・ワークスペースを作成します。

ユーザーの役割に応じて、クラウド・システムによるリモート・デスクトップ接続から、またはローカル・コンピューターから直接、IBM Cognos Insight を実行します。

### クラウド・システムのリモート・デスクトップ・セッションから Cognos Insight を実行する

Cognos TM1 のモデル作成者は、クラウド・システム上のリモート・デスクトップ・セッションから直接 Cognos Insight を実行できます。この方式は、ワークスペースのレイアウト設計を目的としています。

1. リモート・デスクトップ・プロトコル (RDP) アプリケーションを開いて、クラウド・システムに接続します。

詳細については、9 ページの『リモート・デスクトップ接続による Cognos TM1 on Cloud への接続』を参照してください。

**ヒント:** クラシック・デスクトップ・ビューではなく、新しい Windows の「スタート」メニューが表示される場合、「デスクトップ」アイコンをクリックするか、Windows ロゴ・キーを押してクラシック・デスクトップ・ビューに切り替えてください。

2. 「IBM Cognos Insight」のデスクトップ・ショートカットをダブルクリックします。

### ローカル・コンピューターで Cognos Insight を実行する

IBM Cognos TM1 Applications 内部のアプリケーション・ノードを処理する際に、Cognos TM1 ユーザーとして IBM Cognos Insight を実行します。初めて Cognos Insight を実行する場合は、ローカル・コンピューターにインストールするよう指示するプロンプトが表示されます。

**注:** IBM Cognos Insight は、ローカル・コンピューターでプログラムを実行し、クラウド・システムに接続する場合には、分散モードでのみ実行します。

1. Cognos TM1 Applications を開きます。

ローカル・コンピューターで、Web ブラウザーを開いて Cognos TM1 Applications 用に提供された URL を入力します。

例:

`https://wwwX.cognostm1.ibmcloud.com:443/pmpsvc/`

ここで、*X* は、ご使用のクラウド・システムの固有の ID 番号です。

詳細については、15 ページの『Cognos TM1 on Cloud と Cognos TM1 Applications』を参照してください。

2. Cognos Insight を開きます。
  - a. Cognos TM1 Applications で、アプリケーションを開きます。
  - b. アプリケーション・ノードを右クリックして、「**Cognos Insight を開く - 分散**」を選択します。
  - c. Cognos Insight のインストールを求めるプロンプトが表示された場合、プロンプトに従ってプログラムの初回インストールを実行します。

## Cognos Insight の資料

Cognos Insight の以下の資料を、IBM Knowledge Center から入手できます。

- IBM Cognos Insight チュートリアル ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSVJ22\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.coginsight\\_tut.10.2.2.doc/c\\_coginsight\\_tut\\_intro\\_introduction.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSVJ22_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.coginsight_tut.10.2.2.doc/c_coginsight_tut_intro_introduction.html))。
- IBM Cognos Insight ユーザー・ガイド ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSVJ22\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.dsk\\_ug.10.2.2.doc/c\\_dsk\\_intro.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSVJ22_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.dsk_ug.10.2.2.doc/c_dsk_intro.html))。

---

## Cognos TM1 on Cloud と Cognos Analysis for Microsoft Excel

IBM Cognos Analysis for Microsoft Excel を使用して、Cognos TM1 on Cloud システムの Cognos TM1 Server からデータにアクセスすることができます。

Cognos Analysis for Microsoft Excel を Cognos TM1 on Cloud で使用するには、まずアプリケーションをダウンロード、インストール、および設定する必要があります。アプリケーションを使用するユーザーに応じて、インストール・プログラムを同じ組織の他の Cognos TM1 ユーザーに対して分散または使用可能にすることが必要な場合があります。

### Cognos Analysis for Microsoft Excel のダウンロードおよびインストール

Cognos Analysis for Microsoft Excel のインストール・ファイルは、ご使用のクラウド・システムの共有フォルダー内にあります。

1. セキュア FTP (FTPS) をサポートする FTP アプリケーションを使用して、クラウド・システム上の共有フォルダーに接続します。

詳細については、31 ページの『Cognos TM1 on Cloud へのローカル・ファイルのコピー』を参照してください。

2. 以下の場所にある 32 ビットまたは 64 ビットのインストール・プログラムを見つけて、ローカル・コンピューターにダウンロードします。
  - `¥data¥s¥install¥cafe¥10.2.x.x¥win32`
  - `¥data¥s¥install¥cafe¥10.2.x.x¥win64h`
3. `issetup.exe` ファイルをダブルクリックして、ローカル・コンピューターでインストール・プログラムを実行します。

4. インストール・プログラムを、同じ組織の他の Cognos TM1 ユーザーに対して分散または使用可能にします。

Cognos Analysis for Microsoft Excel のインストールについて詳しくは、IBM Cognos Analysis for Microsoft Excel インストール・ガイド ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSHM9K\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.ig\\_cxr.10.2.2.doc/c\\_ig\\_cor\\_introduction.html%23ig\\_cor\\_Introduction](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSHM9K_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.ig_cxr.10.2.2.doc/c_ig_cor_introduction.html%23ig_cor_Introduction)) を参照してください。

## Cognos Analysis for Microsoft Excel を Cognos TM1 on Cloud に接続

Cognos Analysis for Microsoft Excel がクラウド・システム上の Cognos TM1 Server にアクセスできるようにするには、その前に、Cognos Analysis for Microsoft Excel のインストール済み環境を設定する必要があります。

1. Cognos Analysis for Microsoft Excel のツールバーにある「オプション」アイコンを使用すると、Cognos TM1 on Cloud システムに対する接続を設定できます。
2. Cloud ウェルカム・キットで提供された Cognos Analysis for Microsoft Excel のアドレスを追加します。例:

<https://wwwX.cognostm1.ibmcloud.com/>

ここで、*X* は、ご使用のクラウド・システムの固有の ID 番号です。

詳細については、「*IBM Cognos Analysis for Microsoft Excel ユーザー・ガイド*」の以下のトピックを参照してください。

- IBM Cognos システムへの接続の構成

([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSHM9K\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.ug\\_cxr.10.2.2.doc/t\\_ug\\_cxr\\_mdddmdfrl.html%23id\\_cxr\\_gt\\_strtd\\_modify\\_URL](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSHM9K_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.ug_cxr.10.2.2.doc/t_ug_cxr_mdddmdfrl.html%23id_cxr_gt_strtd_modify_URL))

- ユーザー認証の設定

([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSHM9K\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.ug\\_cxr.10.2.2.doc/t\\_coi\\_gt\\_strtd\\_enable\\_signon.html%23coi\\_gt\\_strtd\\_enable\\_signon](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSHM9K_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.ug_cxr.10.2.2.doc/t_coi_gt_strtd_enable_signon.html%23coi_gt_strtd_enable_signon))

- IBM Cognos サーバーへのログオン

([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSHM9K\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.ug\\_cxr.10.2.2.doc/t\\_coi\\_gt\\_strtd\\_log\\_on.html%23coi\\_gt\\_strtd\\_Log\\_On](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSHM9K_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.ug_cxr.10.2.2.doc/t_coi_gt_strtd_log_on.html%23coi_gt_strtd_Log_On))

## Cognos Analysis for Microsoft Excel の資料

Cognos Analysis for Microsoft Excel の以下の資料を、IBM Knowledge Center から入手できます。

- IBM Cognos Analysis for Microsoft Excel インストール・ガイド ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSHM9K\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.ig\\_cxr.10.2.2.doc/c\\_ig\\_cor\\_introduction.html%23ig\\_cor\\_Introduction](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSHM9K_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.ig_cxr.10.2.2.doc/c_ig_cor_introduction.html%23ig_cor_Introduction))

- IBM Cognos Analysis for Microsoft Excel ユーザー・ガイド  
([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSH9K\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.ug\\_cxr.10.2.2.doc/c\\_corwelcomeintro.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSH9K_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.ug_cxr.10.2.2.doc/c_corwelcomeintro.html))

---

## Cognos TM1 on Cloud と Cognos TM1 Mobile Contributor

Apple iPad の IBM Cognos TM1 Mobile Contributor を使用して、クラウド・システムの IBM Cognos TM1 Applications でホストされるプランニング・アプリケーションにアクセスします。

モバイル・ユーザーは、すべてのプランニング・アプリケーションにアクセスし、すべての承認ノードの送信状況を表示し、iPad アプリケーション内でグリッド形式またはグラフ形式によりキューブ・ビューと対話することができます。また、iPad で値を変更し、データが更新される IBM Cognos TM1 Server 上の計画にそれらの値を送り返すこともできます。

### iPad での Cognos TM1 Mobile Contributor のインストールおよび設定

iPad ユーザーは、Cognos TM1 Mobile Contributor を Apple App Store から iPad に直接インストールします。

1. iPad で、App Store プログラムを開いて『IBM Cognos TM1』を検索し、Cognos TM1 Mobile Contributor アプリケーションを見つけます。
2. そのアプリケーションをインストールします。
3. Cognos TM1 Mobile Contributor を実行して、そのアプリケーションを Cognos TM1 on Cloud システムに接続できるように設定します。
4. ウェルカム画面で、「新しい接続の追加」 正符号 (+) ボタンをタップします。
5. 「接続」ダイアログで、接続情報を入力します。
  - Cloud ウェルカム・キットで提供された Cognos TM1 Mobile Contributor のアドレスを、「ホスト」に入力します。

例:

`wwwX.cognostm1.ibmcloud.com`

ここで、X は、ご使用のクラウド・システムの固有の ID 番号です。

注: `https://` の接頭部は必須ではありません。

- 「接続名」に、この接続に関する独自のテキスト記述を入力します。
  - 「サーバー・セット」では、ポートを 443 に設定します。
  - 「SSL を使用」では、オプションを「ON」に設定します。
6. 「接続」をタップして、設定を保存し、接続を作成します。
  7. プロンプトが表示されたら、Cognos TM1 のユーザー名とパスワードを入力し、接続を完了します。

---

## Cognos TM1 on Cloud と Cognos Command Center のエージェント

IBM Cognos Command Center® を使用して TM1 Server を自動化できます。

Cognos TM1 on Cloud を使用して、Cognos Command Center にタスクを送信できます。

- TI プロセスをファイル管理に結びつけるタスクを作成できます。例えば、FTPS によるクラウドへのデータ・ファイルのスケジュール済みアップロードを自動化し、かつクラウド・システム上の TM1 にデータをインポートする TI プロセスを実行するタスクを作成できます。その後そのタスクにより、2 つ目の TI プロセスを実行して最初の TI プロセスの結果をエクスポートし、ローカル・コンピューターに結果をダウンロードし直すことができます。
- Cognos Command Center の他の機能も使用できます。例えば、ログ・ファイルを解析して問題を見つけ、アラートを受信できます。
- Cognos Command Center を使用して、オンプレミスの処理とクラウドの処理とを連携させることができます。クラウド間の処理も管理できます。


#### 重要:

- エージェントが Windows 管理者ではないため、Windows サービスとして実行される TM1 Server を再始動させるためにエージェントを使用することはできません。
- E メール・サーバーが構成されていません。ただし、メーリングに関する他のソリューションがクラウドから使用できます。

**重要:** 初めてクラウド・システムを使用する際には、要求したクラウド・システムごとの Cloud ウェルカム・キット・ファイルが準備されています。Cloud ウェルカム・キットには、Cognos Command Center にエージェントを設定するのに必要な情報と、Cognos Command Center サーバーにコンピューティング・リソースを設定するのに必要な情報が含まれています。詳細については、6 ページの『Cognos TM1 on Cloud のアカウントおよびシステム情報』を参照してください。

## Cognos Command Center サーバーへのエージェントの設定方法

エージェントは IBM Cognos Command Center に追加される必要があり、その接続プロパティは Cognos Command Center サーバーがエージェントと対話できるように構成されなければなりません。

1. Cognos Command Center ナビゲーション・ツリーで、「**セットアップと設計**」をクリックします。
2. 「**セットアップと設計**」タブで、「**エージェント**」をクリックします。
3. エージェントを作成するには、「**新規**」アイコン  をクリックするか、エージェント項目を右クリックして「**新規**」をクリックします。
4. 新規エージェントの名前を指定します。
5. 以下のプロパティを指定します。
  - 「**ホスト名**」例えば、`wwwX.cognostm1.ibmcloud.com`。
  - 「**ポート**」例えば、`7326`。
  - 「**プラットフォーム**」例えば、`Windows`。
  - 「**エージェント・ユーザー名**」例えば、`admin`。
  - 「**エージェント・パスワード**」例えば、Cloud ウェルカム・キットに含まれている 50 文字のパスワード。




6. 「エージェントのテスト」をクリックして、エージェントへの接続が正常に動作していることを確認します。

**重要:** テスト接続が動作するには、エージェントはホスト上で実行される必要があります。

エージェントの作成について詳しくは、エージェント ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSPLNP\\_10.2.0/com.ibm.swg.ba.cognos.ag\\_ccc.10.2.0.doc/c\\_ag\\_ccc\\_agents.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSPLNP_10.2.0/com.ibm.swg.ba.cognos.ag_ccc.10.2.0.doc/c_ag_ccc_agents.html)) を参照してください。

## Cognos Command Center サーバーへのコンピューティング・リソースの設定方法

このコンピューティング・リソース・タイプは、IBM Cognos TM1 Server インスタンスを示します。

1. Cognos Command Center ナビゲーション・ツリーで、「セットアップと設計」をクリックします。
2. 「エコシステム」をクリックします。
3. エコシステムを開きます。例えば、ナビゲーション・ウィンドウで既存のエコシステムをダブルクリックします。
4. 「エコシステム・エディター」ウィンドウで、「コンピューター・リソース」タブをクリックします。
5. 「コンピューティング・リソースを追加」アイコンをクリックして  新しいコンピューティング・リソースを追加します。

新しいコンピューティング・リソース・エディターが開きます。

6. TM1 コンピューティング・リソースを追加するには、「タイプ」ドロップダウン・リストから「**TM1 Server**」を選択します。

TM1 リソース属性が表示されます。

7. 以下の属性を構成します。
  - 「エージェント」 「Cognos Command Center サーバーへのエージェントの設定方法」タスクで作成したエージェントを使用します。
  - 「ホーム・ディレクトリー」 例えば、*c:¥ccc¥your\_choice*。
  - 「管理ホスト」 例えば、*data*。
  - 「サーバー名」 例えば、*your\_TM1\_server name*。
  - 「ユーザー名」 例えば、*your\_TM1\_user name*。
  - 「パスワード」 例えば、*your\_TM1\_ password*。
  - 「CAM ネームスペース名」 空のままにします。
  - 「証明書鍵ストア」 例えば、*c:¥tm1¥bin64¥ssl¥tm1store*。
  - 「証明書鍵ストアのパスワード」 例えば、*applix*。

詳しくは、IBM Cognos TM1 プラグインの構成 ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSPLNP\\_10.2.0/com.ibm.swg.ba.cognos.ug\\_ccc\\_pi\\_tm1.10.2.0.doc/c\\_ug\\_ccc\\_pi\\_tm1\\_configuration.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSPLNP_10.2.0/com.ibm.swg.ba.cognos.ug_ccc_pi_tm1.10.2.0.doc/c_ug_ccc_pi_tm1_configuration.html))。

## Cognos Command Center の資料

Cognos Command Center の資料を、IBM Knowledge Center ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSPLNP\\_10.2.0/com.ibm.swg.ba.cognos.ccc.doc/welcome.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSPLNP_10.2.0/com.ibm.swg.ba.cognos.ccc.doc/welcome.html)) から入手できます。

---

## Cognos TM1 on Cloud Control

Web ブラウザーを使用して、ご使用の環境で実行されているすべての TM1 クラウド・サービスを開始および停止します。これによって、開発時間を削減することができます。例えば、コンテンツを開発環境から実稼働環境へ移動する場合などです。

詳細については、27 ページの『TM1 クラウド・サービスの停止および開始』を参照してください。



---

## 第 3 章 Cognos TM1 on Cloud のモデル作成タスク

IBM Cognos TM1 on Cloud システムのモデル作成者は、クラウド・システムにおけるファイルのアップロードや管理、およびデータのマイグレーションなど、クラウド環境に固有のステップについて理解していなければなりません。

---

### Cognos TM1 on Cloud での Cognos TM1 Server の管理

クラウド・システム上の IBM Cognos TM1 Server の一部の管理タスクをユーザー自身で実行することができます。その他のタスクには、IBM サポートの支援が必要です。

#### TM1 クラウド・サービスの停止および開始

場合によっては、クラウド・システム上の Cognos TM1 Server またはその他の関連サービスのオペレーティング・システム・サービスを停止して再始動する必要がある場合があります。これを行うには、Cognos TM1 on Cloud Control ユーティリティを使用します。

1. ローカル・コンピューター上で、Web ブラウザーを開いて Cognos TM1 on Cloud Control の URL を入力します。

例えば、Cognos TM1 on Cloud Control は、以下の URL フォーマットを使用します。

```
https://wwwX.cognostm1.ibmcloud.com/control/
```

ここで、X は、ご使用のクラウド・システムの固有の ID 番号です。

2. ログイン情報を入力します。
  - a. 「ユーザー名」フィールドに、control と入力します。
  - b. 「パスワード」フィールドに、Cloud Welcome キットに含まれている control ユーザー・アカウントのパスワードを入力します。
3. リストされた TM1 サービスについて、必要に応じてボタンをクリックします。
  - コンテンツを変更するために TM1 サービスを停止する場合は、「停止」をクリックします。
  - 「停止の保留中」という状況メッセージが「停止済み」に変わらずに 5 分より長く続く場合は、「処理の終了」をクリックします。

注: 「処理の終了」をクリックすると、ログに記録されていないデータは失われます。

- TM1 サービスの実行を再開するには、「開始」または「再始動」をクリックします。

## クラウド・システム上のコンテンツのアップデート

リモート・デスクトップを使用して、コンテンツ・ファイルをアップロードしたり、クラウド・システム上のデフォルトの TM1 サーバーにデータをロードしたりします。

1. リモート・デスクトップ接続を使用してクラウド・システムに接続します。

詳細については、9 ページの『リモート・デスクトップ接続による Cognos TM1 on Cloud への接続』を参照してください。

**ヒント:** クラシック・デスクトップ・ビューではなく、新しい Windows の「スタート」メニューが表示される場合、「デスクトップ」アイコンをクリックするか、Windows ログ・キーを押してクラシック・デスクトップ・ビューに切り替えてください。

2. 更新されたファイルを、リモート・デスクトップの一時フォルダーにアップロードします。
  - a. リモート・デスクトップ・セッションで Microsoft Windows エクスプローラーを開きます。

**ヒント:** Windows Server 2012 において、Windows エクスプローラーのツールはエクスプローラーに名前変更されました。

- b. リモート・デスクトップで一時フォルダーを作成します。
- c. ファイルを、ローカル・デスクトップのエクスプローラーから、リモート・デスクトップで作成した一時フォルダーにコピーします。

**ヒント:** また、ファイル転送プロトコル (FTP) を使用してローカル・ファイルをクラウド・システムにコピーすることもできます。

3. コンテンツを更新している TM1 サービスを停止します。
  - a. Cognos TM1 on Cloud Control ユーティリティを開始します。
  - b. 影響を受ける TM1 サービスごとに、「停止」をクリックします。
4. 「リモート・デスクトップ」ウィンドウで、アップロードされたファイルをサーバーのデータ・フォルダーにコピーします。

例えば、ファイルを一時フォルダーからフォルダー `¥¥data¥s¥prod¥data¥tm1` にコピーします。

**重要:** TM1 サービスのいずれかを示す既存のフォルダー (例えば `¥¥data¥s¥prod¥data¥tm1`) を削除しないでください。サービスを示すフォルダーには、ファイル `tm1s.cfg` が含まれています。

5. TM1 サービスを開始します。
  - 「**TM1 Cloud Control**」ウィンドウにアクセスします。
  - 停止された TM1 サービスごとに、「開始」をクリックします。

## クラウド・システムでのサービスの追加または削除

TM1 クラウド・システムで、新規サービスを作成したり、既存のサービスを削除したりする場合は、IBM サポートにお問い合わせください。そうすることによって、

新しいサービスに関して、正しいセキュリティー、リカバリー、および接続がセットアップされます。

---

## Cognos TM1 on Cloud での Cognos TM1 ユーザー・アカウントの管理

IBM Cognos TM1 on Cloud システムのモデル作成者は、会社で必要とされる TM1 ユーザー・アカウントの作成および保守を担当します。

### このタスクについて

IBM Cognos TM1 Architect または IBM Cognos TM1 Performance Modeler を使用して、ご使用のクラウド・システム用の Cognos TM1 ユーザーおよびグループを作成し、管理できます。

### 手順

1. Cognos TM1 Architect でユーザー・アカウントを管理する手順は、以下のとおりです。
  - a. クラウド・システムのリモート・デスクトップ・セッションで、Cognos TM1 Architect を実行します。

詳しくは、17 ページの『Cognos TM1 on Cloud と Cognos TM1 Architect』を参照してください。
  - b. Cognos TM1 Server にログインします。
  - c. **tm1** ノードを右クリックして、「セキュリティー」>「クライアント/グループ」を選択します。
  - d. 「クライアント/グループ」ツールを使用して、ユーザーを管理します。

Cognos TM1 Architect を使用したユーザーおよびグループの管理について詳しくは、「IBM Cognos TM1 操作ガイド」([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1\\_op.10.2.2.doc/c\\_preface\\_tm1\\_ops.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1_op.10.2.2.doc/c_preface_tm1_ops.html)) を参照してください。

2. Cognos TM1 Performance Modeler でユーザー・アカウントを管理する手順は、次のとおりです。
  - a. クラウド・システムのリモート・デスクトップ・セッションで Cognos TM1 Performance Modeler を実行します。

詳しくは、19 ページの『Cognos TM1 on Cloud と Cognos TM1 Performance Modeler』を参照してください。
  - b. 「モデル設計」ペインで、**data.tm1** を右クリックして「セキュリティーの構成」>「ユーザーおよびグループの定義」>「ユーザーおよびグループ」を選択します。
  - c. 「クライアント/グループ」ツールを使用して、ユーザーを管理します。

Cognos TM1 Performance Modeler を使用したユーザーおよびグループの管理について詳しくは、「IBM Cognos TM1 Performance Modeler ユーザー・ガイド」([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.prfdmld\\_ug.10.2.2.doc/c\\_prfdmld\\_intro.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.prfdmld_ug.10.2.2.doc/c_prfdmld_intro.html)) を参照してください。

## Cognos TM1 on Cloud 共有フォルダーでのファイルの管理

クラウドのデスクトップ・セッション内では、共有フォルダー内のファイルの管理を、リモート側から、または直接行うことができます。複数のクラウド環境がある場合には、各環境の共有フォルダー間でファイルを移動することもできます。

使用するローカル環境やクラウド環境に応じて、以下のいずれか 1 つまたは複数の方法で、共有フォルダー内のファイルを管理できます。

### ローカル・コンピューターから共有フォルダーにアクセスする

リモート・コンピューターから共有フォルダーに接続するには、セキュア FTP (FTPS) をサポートするファイル転送プロトコル (FTP) アプリケーションを使用します。そうすることで、ローカル・コンピューターと、クラウド・システム上の共有フォルダー間で、安全にファイルを移動することができます。

Cloud ウェルカム・キットで提供された共有フォルダーのアドレスを指定して、FTP アプリケーションを使用します。例:

`wwwX.cognostm1.ibmcloud.com`

ここで、X は、ご使用のクラウド・システムの固有の ID 番号です。

詳細については、31 ページの『Cognos TM1 on Cloud へのローカル・ファイルのコピー』を参照してください。

### リモート・デスクトップ・セッションで共有フォルダーを使用する

クラウド・システムのリモート・デスクトップ・セッション内から共有フォルダーにアクセスするには、以下のパスを使用します。

`¥¥data¥s`

例えば、リモート・デスクトップ・セッションで Microsoft Windows のエクスプローラーを開き、パスとして `¥¥data¥s` を入力します。

**ヒント:** Windows Server 2012 において、Windows エクスプローラーのツールはエクスプローラーに名前変更されました。

### 複数クラウド環境の共有フォルダー間でのファイルの移動

別の Cognos TM1 on Cloud 環境の共有フォルダーに接続するには、提供されている `x.x.x.x` アドレスを使用します。

例えば、2 つのクラウド環境間でファイルを移動する場合の一般的なステップは、以下のようになります。

1. 最初のクラウド環境に対するリモート・デスクトップ接続を開始します。
2. 最初のクラウド環境のリモート・デスクトップ・セッションで Microsoft Windows のエクスプローラーを開き、`¥¥data¥s` と入力します。
3. 同じリモート・デスクトップ・セッションでエクスプローラーの 2 つ目のインスタンスを開き、もう 1 つのクラウド環境用の `x.x.x.x` アドレスを入力します。

4. エクスプローラーを使用して、これら 2 つのクラウド環境の共有フォルダー間でファイルをコピーおよび貼り付けします。

## Cognos TM1 on Cloud へのローカル・ファイルのコピー

IBM Cognos TM1 on Cloud システムには、データ・ファイルの保管および転送用の専用共有フォルダーがあります。ローカル・コンピューターと、セキュア・ファイル転送プロトコル (FTPS) アプリケーションを備えたクラウド・システムの共有フォルダー間で、ファイルをコピーすることができます。

### 始める前に

Cognos TM1 on Cloud システムのアカウント情報を保持している必要があります。

また、ローカル・システムからクラウド・システムに安全にファイルをコピーするためには、セキュア FTP (FTPS) をサポートする FTP アプリケーションも必要です。

**重要:** 転送時にデータが確実に暗号化されるようにするため、クラウド・システムの FTP 接続は、Secure Sockets Layer を使用する FTP (FTPS) で構成されています。必ず FTPS をサポートする FTP アプリケーションを使用してください。

### 手順

1. ローカル・コンピューターで、FTP アプリケーションを開いて、セキュア FTP (FTPS) を使用するためのオプションを有効にします。
2. 接続のための情報を入力します。
  - a. クラウド・システム上の共有フォルダーのアドレスを入力します。

例:

```
wwwX.cognostm1.ibmcloud.com
```

ここで、X は、ご使用のクラウド・システムの固有の ID 番号です。
  - b. FileShare のユーザー名と、クラウド共有フォルダー用に割り当てられたパスワードを入力します。
3. FTP アプリケーションを使用して、ローカル・コンピューターとクラウド・システムの間でファイルを選択して移動します。
4. FTP セッションからログアウトして、FTP アプリケーションを閉じます。

---

## Cognos TM1 on Cloud によるデータのロードおよびマイグレーション

IBM Cognos TM1 on Cloud による、開発環境から実稼働環境へのデータのマイグレーションは、慎重な計画を必要とし、段階的に実行する必要があるプロセスです。データ・マイグレーションの実際の手順は、開発および実稼働環境の配置場所や、移動するデータのタイプなど、いくつかの要因に応じて異なります。

Cognos TM1 on Cloud 環境における以下のデータ・マイグレーション・タスクの支援については、IBM サポートにお問い合わせください。

- Cognos TM1 Server の停止および再始動。
- Cognos TM1 on Cloud 実稼働環境への初回データ・マイグレーションの実行。

- Cognos TM1 設定ファイルの編集。

Cognos TM1 モデル作成者として実行可能なデータ・マイグレーション・タスクは、以下のとおりです。

- ローカル・コンピューターから、非実稼働クラウド・システムまたは実稼働クラウド・システム内の共有フォルダーへのファイルのアップロード。
- 非実稼働クラウド・システムおよび実稼働クラウド・システムの共有フォルダー間でのファイルの移動。
- Cognos TM1 Web シート・ファイルの共有フォルダーへの手動によるコピー。

**重要:** Cognos TM1 データ・ディレクトリーに対する完全な書き込みアクセス権限を保持している場合であっても、Cognos TM1 Server のデータベース・ファイルをデータ・ディレクトリーにコピーする際に、Cognos TM1 Server を停止および再始動するためには、IBM サポートに連絡する必要があります。

以下のタスクは、継続的に実行できます。

- IBM Cognos TM1 Performance Modeler の転送ツールを使用した、開発環境と実稼働環境間でのメタデータ変更のエクスポートおよびインポート。

詳しくは、「*IBM Cognos TM1 Performance Modeler ユーザー・ガイド*」のデータのインポートと転送 ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.prfmdl Ug.10.2.2.doc/c\\_prfmdl\\_importing\\_transferring\\_data.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.prfmdl Ug.10.2.2.doc/c_prfmdl_importing_transferring_data.html)) を参照してください。

- TurboIntegrator プロセスを使用した、実稼働環境への一括データのロード。

詳しくは、IBM Cognos TM1 TurboIntegrator ガイド ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1\\_turb.10.2.2.doc/c\\_preface\\_n90007.html%23Preface\\_N90007](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1_turb.10.2.2.doc/c_preface_n90007.html%23Preface_N90007)) を参照してください。

---

## 付録. Cognos TM1 on Cloud の技術的考慮事項

IBM Cognos TM1 on Cloud の使用時に認識しておく必要のある、技術的考慮事項がいくつかあります。

---

### Cognos TM1 on Cloud での複製および同期

IBM Cognos TM1 on Cloud では、現在 Cognos TM1 の複製および同期 (rep および sync) 機能をサポートまたはテストしていません。

Cognos TM1 on Cloud のコンポーネントのユーザー・インターフェースで、複製および同期用のオプションが表示されていたとしても、この機能はクラウド環境ではサポートされません。

---

### Cognos TM1 on Cloud システムのタイム・ゾーンおよびクロックの設定

IBM Cognos TM1 on Cloud のシステム・クロックは、協定世界時 (UTC) に設定されています。UTC は、インターネット、ネットワーク、オンライン・サービスおよびコンピューター・サーバーに渡って使用される世界時標準です。

Cognos TM1 on Cloud システムのタイム・ゾーンは変更できません。クラウド・システムの Microsoft Windows デスクトップ環境用のユーザー・アカウントには、タイム・ゾーンを変更するための十分な権限がありません。

ただし、Windows システム・トレイ・タスクバーにあるクロックの上にマウスを移動すると表示される追加クロックを、クラウド・システムに追加できます。また、Windows タスクバーからクロックを削除することもできます。

追加クロックの追加について詳しくは、インターネットで「Windows Server 2012 追加クロック」について検索してください。

---

### Cognos TM1 on Cloud と TurboIntegrator ASCIIOutput および TextOutput 関数

TurboIntegrator (TI) プロセスで相対パスを使用して、IBM Cognos TM1 on Cloud システムの共有フォルダーにデータをエクスポートします。

**ASCIIOutput** および **TextOutput** TI 関数は、クラウド・システムの `¥¥data¥s` の出力パスでは機能しません。代わりに、`./` を使用して Cognos TM1 データ・ディレクトリーおよびクラウド・システム上の共有フォルダーの相対パスを示します。

例えば、以下の TI コード・サンプルは、クラウド・システムでは機能しません。

```
ASCIIOutput('\\data\s\prod\test.txt',test output);
```



以下のコード・サンプルは、クラウド・システムで機能します。これらのサンプルは、データ・ディレクトリー内の temp という名前のユーザー作成フォルダーに出力を書き込みます。

```
ASCIIOutput('./temp/test1.txt','test output 1');
```

```
TextOutput('./temp/test2.txt','test output 2');
```

これらの TI 関数について詳しくは、「*IBM Cognos TM1 リファレンス・ガイド*」の ASCII および Text TurboIntegrator 関数 ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT\\_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1\\_ref.10.2.2.doc/c\\_asciiandtextturbointegratorfunctions\\_n706d4.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS9RXT_10.2.2/com.ibm.swg.ba.cognos.tm1_ref.10.2.2.doc/c_asciiandtextturbointegratorfunctions_n706d4.html) %23ASCIIandTextTurboIntegratorFunctions\_N706D4) を参照してください。

---

## Cognos TM1 on Cloud および Cognos TM1 Architect の表示の問題

一部のシナリオでは、Cognos TM1 Architect または Server Explorer を Cognos TM1 on Cloud システムのデスクトップ・セッションで実行すると、オブジェクト・ツリー・ペイン内の展開アイコンおよび縮小アイコン (+ 記号と - 記号) が非表示になります。

この表示の問題が発生した場合、ツリーでオブジェクト・ノードを展開して TM1 データ・オブジェクトにアクセスすることができなくなります。

この回避策として、Cognos TM1 Architect または Server Explorer を閉じてから再度開き、正しく表示されるようにします。

---

## Cognos TM1 on Cloud および Cognos TM1 Architect でのメッセージ・ログの表示

Cognos TM1 on Cloud で Cognos TM1 Architect 内のメッセージ・ログを表示するには、回避策が必要です。

「サーバー」>「メッセージ・ログの表示」をクリックすると、「ログ・ファイルを開く際にエラーが発生しました」というエラーが表示されます。

回避策として、`¥¥data¥s¥prod¥data¥tm1` 共有フォルダーの場所にある `tm1server.log` ファイルを、Windows のメモ帳などのテキスト・エディターで開いて表示します。



---

## 特記事項

本書は IBM が世界各国で提供する製品およびサービスについて作成したものです。

この記述は、IBM から他の言語で提供されている場合があります。しかし、それを参照するためには、その言語版の製品もしくは製品のコピーを所有していることが必要となる可能性があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。本書には、お客様が購入されたプログラムまたはライセンス資格に含まれない製品、サービス、または機能に関する説明が含まれる場合があります。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Software Group  
Attention: Licensing  
3755 Riverside Dr.  
Ottawa, ON  
K1V 1B7  
Canada

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

この「ソフトウェア・オフファリング」は、Cookie もしくはその他のテクノロジーを使用して個人情報を収集することはありません。

---

## 商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

- Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。



# 索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

## [ア行]

アカウント情報 6

## [カ行]

開発環境 1

概要 2

技術的考慮事項 33

共有フォルダー 5, 30

ローカルとクラウド間でのファイルの移動 31

クライアント・コンポーネント 4

クラウド・システム 2

言語設定 12

コンポーネントの実行 15

## [サ行]

実稼働環境 1

情報の検索 v

相対パス 33

## [タ行]

データ・マイグレーション 31

ドキュメント 13

## [ハ行]

はじめに v

パスワード 6

非実稼働環境 1

ファイル管理 30

ファイル転送 31

ホストされるアプリケーション 4

## [ヤ行]

ユーザー名 6

## [ラ行]

リモート・デスクトップ接続 9

ローカル・アプリケーション 4

## A

ASCHOutput 関数 33

## C

Cloud ウェルカム・キット 6

Cognos Analysis for Microsoft Excel 21

Cognos Command Center 24

Cognos Insight 20

Cognos TM1 Applications 16, 26

Cognos TM1 Architect 17

Cognos TM1 Mobile Contributor 23

Cognos TM1 on Cloud

アカウント情報 6

アプリケーションおよびコンポーネント 4

環境 1

共有フォルダー 5

言語設定 12

ご利用の手引き 1

システムの概要 2

リモート・デスクトップ接続 9

Cognos Analysis for Microsoft Excel と 21

Cognos Command Center と 24

Cognos Insight と 20

Cognos TM1 Applications と 16

Cognos TM1 Architect と 17

Cognos TM1 Mobile Contributor と 23

Cognos TM1 Operations Console と 16

Cognos TM1 Performance Modeler と 19

Cognos TM1 Perspectives と 18

Cognos TM1 Web と 15

Windows Server 2012 と 10

Cognos TM1 on Cloud Control 26

Cognos TM1 Operations Console 16

Cognos TM1 Performance Modeler 19

Cognos TM1 Perspectives 18

Cognos TM1 Server

管理 27

停止および開始 27

Cognos TM1 Web 15

Cognos TM1 コンポーネント 4

Cognos TM1 ユーザー・アカウント 29

## F

FTPS 31

## T

TextOutput 関数 33

## W

Windows Server 2012

キーボード・ショートカット 10